

## 平成 30 年度発達障害者余暇支援事業の報告書

実施主体：佐賀県

委託先法人：非営利活動法人それいゆ

### 1 事業名

平成 30 年度発達障害者余暇支援事業

### 2 事業要旨

毎月 1 回、2 時間程度のグループ活動（調理実習・ボードゲーム・カラオケなど）や近況報告、テーマを決めての意見交換を実施した。活動内容ごとに活動内容に興味関心がある発達障害者が集まり、リラックスしてお茶を飲みながら、会話を楽しんだり、情報交換をしたりしながら、同世代の人との関わり方を学ぶ場とする。スタッフは、サポーターの立場でファシリテーターとして参加する。雑談等の中から、参加者の課題などに気づいた場合には、速やかに関係機関に連絡し、課題の早期解決につなげる。

平成 30 年度は延べ 76 名の発達障害者が当該事業に参加した。グループ活動の前後でストレスチェックの値を確認すると、大部分の参加者のストレス軽減効果が見られた。

一方、参加の呼びかけにも反応がない発達障害者グループの存在も確認された。今後は、呼びかけにも反応がない発達障害者グループが参加して意見交換できるような体制整備が必要である。

### 3 事業目的

一般就労又は福祉的就労をしている発達障害者に対し、休日の活動や当事者同士での交流の場を提供することにより、就労への活力を維持し、就労定着を図ることを目的とする。また、就労している参加者同士が交流することで、悩みを相談し合うなどのピアサポートが期待される。

### 4 事業の実施内容

#### (1) 対象者の選定

原則として、以下の要件を満たしている者を対象者とした。

- ① 発達障害の診断を受けていること
- ② 県内の発達障害者支援センター、障害者就業・生活支援センター、発達障害者相談機関等から紹介があること
- ③ 一般就労又は福祉的就労（就職活動中も可）をしていること

#### ④ 事前に参加申込みを行っていること

#### (2) 実施方法

毎回活動前に参加者に対してストレスチェックを行う。ストレスチェック後にグループ活動を2時間程度実施する。グループ活動では、調理実習、ボードゲーム、カラオケなどを実施する。グループ活動終了後に再度ストレスチェックを実施し、ストレス状態がどのように変化したかを確認する。

#### 5 分析、考察

平成30年度は月に1回グループ活動を実施し、合計12回(延べ参加者数76人)となった。参加者のストレスチェックの結果を見ると、ほとんどの参加者のストレスチェックの値が改善されており、ストレス軽減が見られた。充実した休日を過ごすことで、休日明けも円滑に働くことができていると考えられる。

一方、「A) 毎回参加して積極的に活動する」、「B) 断続的に参加する」、「C) 参加呼びかけにも反応がない」、という3パターンに対象者が分かれた。当事業は“場”の提供であるため、参加を強制するものではなく、C) パターンの対象者が別の余暇支援等で充実した生活を送っているかどうか、支援を必要としているのかどうかは不明である。今後は、呼びかけにも反応がない発達障害者グループが参加して意見交換できるような体制整備が必要である。

#### 6 成果の公表実績・計画

佐賀県ホームページで取り組み結果を公表する予定である。

# 平成 30 年度第 1 回余暇支援事業 報告書

2018 年 4 月 24 日

記録者:佐賀県西部発達障害者支援センター蒼空～SORA～

## ■概要

【目的】・当事者同士が集まる機会を設け、お互いの情報交換を行う。

・発達障害者への余暇(休日)支援・情報交換の場を提供し、休日の充実を図ることで、間接的な職場定着支援が出来る。

・雑談等を通して、就労後の問題を早いうちに拾い上げ、就労定着支援を担当している関係機関と連絡をとることで、問題を早期解決できる可能性が増える。

【日時】 2018 年 4 月 24 日(土) 10:00～12:00

【場所】 オフィスそれいゆ

【参加者】 6 名(O.R・Y.K・T.M・S.K・U.Y、LY)

【参加スタッフ】5名

【活動内容】 テーブルゲーム

時間	内容
10:00 頃	ストレステスト
	フリートーク・自己紹介・質問タイム・ティーパーティーのマナー
	ゲームの説明・ゲームのマナー・景品順位決め
	テーブルゲーム
	結果発表
	景品渡し・会食・雑談・次回お知らせ
12:00 頃	ストレステスト 解散

## ■経過と今後の課題

・当日、欠席者1名(当日連絡あり)、遅刻者 1 名(入口に貼付された「遅れてきた時のマナー」を確認後、他の参加者へ謝罪ができた)。

・フリートークの質問タイム時に、参加者同士でも活発にやりとりができていた。

・今回新規の参加者がおり、全体の流れ等のフォローにスタッフが入れた事がよかったが、ゲームの内容については種類によっては難しい様子が見られたので、今後は少し内容に応じてスタッフが誘導をしてもいいかもしれない。

# 平成 30 年度第 2 回余暇支援事業 報告書

2018 年 5 月 12 日

記録者:佐賀県西部発達障害者支援センター蒼空～SORA～

## ■概要

【目的】・当事者同士が集まる機会を設け、お互いの情報交換を行う。

・発達障害者への余暇(休日)支援・情報交換の場を提供し、休日の充実を図ることで、間接的な職場定着支援が出来る。

・雑談等を通して、就労後の問題を早いうちに拾い上げ、就労定着支援を担当している関係機関と連絡をとることで、問題を早期解決できる可能性が増える。

【日時】 2018 年 5 月 12 日(土) 10:00～12:00

【場所】 カラオケ ナイスデイ 新中町店

【参加者】 7 名(O.R、T.M、H.A、Y.H、N.K、S.K、S.K)

【参加スタッフ】4 名

【活動内容】カラオケ

時間	内容
10:00 頃	ストレステスト
	部屋割り、部屋移動、カラオケのマナー
	歌う順番を決める
	カラオケ
12:00 頃	ストレステスト、次回のお知らせ 解散

## ■経過と今後の課題

・1 名少し遅れて参加となったが、円滑に行う事が出来た。2 部屋に 3 名、4 名で分かれて実施したが、利用者の歌の好み等を配慮し利用者の部屋割りを行なった事で、利用者同士でも余暇の話をするなどの様子が見られた。

・今回参加者がジュースをこぼしてしまった際に、ウエットティッシュしか持ってきていなかった為、次回からはボックスティッシュ等も準備をしていた方がいいという意見が出た。

また、ジュース類も甘いもの以外にも紅茶等も準備をしていた方がいいかもしれない。

# 平成 30 年度第 3 回余暇支援事業 報告書

2018 年 6 月 27 日

記録者：佐賀県西部発達障害者支援センター蒼空～SORA～

## ■概要

【目的】・当事者同士が集まる機会を設け、お互いの情報交換を行う。

・発達障害者への余暇(休日)支援・情報交換の場を提供し、休日の充実を図ることで、間接的な職場定着支援が出来る。

・雑談等を通して、就労後の問題を早いうちに拾い上げ、就労定着支援を担当している関係機関と連絡をとることで、問題を早期解決できる可能性が増える。

【日時】 2018 年 6 月 23 日(土) 10:00～12:00

【場所】 ラウンドワン 佐賀店

【参加者】 7名(O.Kさん、S.Kさん、Y.Hさん、Y.Kさん、Y.Kさん、T.Mさん、U.Yさん)

【参加スタッフ】4名

【活動内容】カラオケ

時間	内容
10:00 頃	ストレステスト
	グループ分け、ボウリングコーナーへ移動
	ボウリング(2ゲーム)
12:00 頃	ストレステスト、次回のお知らせ 解散

## ■経過と今後の課題

・1 名少し遅れて参加となったが、円滑に行う事が出来た。

・3 グループに分かれて、2 ゲームを実施。レーンが会場の一番端だった事もあり、他の客が離れていたことは良かった。

・2 階の受付にて、グループ発表をした際、ゲームコーナー等の音が大きく、声が聞こえづらい状態でもあった為、紙にグループを書いて伝えたところ、参加者は混乱することなくグループに分かれる事が出来たので今後もグループ表等は紙面で伝えた方がいいと思われる。

・ボウリング経験や力の差等を考慮してグループ分けをしたが、メンバーとの相性等があり、難しさがあった。来年度実施分でもグループ分けは調整が必要だと思われる。

# 平成 30 年度第 4 回余暇支援事業 報告書

2018 年 7 月 18 日

記録者：佐賀県西部発達障害者支援センター蒼空～SORA～

## ■概要

【目的】・当事者同士が集まる機会を設け、お互いの情報交換を行う。

・発達障害者への余暇(休日)支援・情報交換の場を提供し、休日の充実を図ることで、間接的な職場定着支援が出来る。

・雑談等を通して、就労後の問題を早いうちに拾い上げ、就労定着支援を担当している関係機関と連絡をとることで、問題を早期解決できる可能性が増える。

【日時】 2018 年 7 月 14 日(土) 10:00～12:00

【場所】 オフィスそれいゆ

【参加者】 7 名

【参加スタッフ】4 名

【活動内容】 テーブルゲーム

時間	内容
10:00 頃	ストレステスト
	フリートーク・自己紹介・質問タイム・ティーパーティーのマナー
	ゲームの説明・ゲームのマナー・景品順位決め
	テーブルゲーム
	結果発表
	景品渡し・会食・雑談・次回お知らせ
12:00 頃	ストレステスト 解散

## ■経過と今後の課題

・今回は 2 名の新規参加者がおり、緊張されている様子だったが、フォローするスタッフをつけていた事もあり、最後は笑ったりするなど、少しずつ緊張がほぐれてきた事は良かったと思っている。

・最初のフリートークでは、参加者の話が長くなってしまい、途中から他の参加者がイライラし始めてしまう事があった。時間は 3 分以内と言っていたが、ホワイトボードに明記したり、後半の質問 time を短くしたりと司会進行スタッフが調整をもう少し工夫する事が必要だと思われる。

・フリートークではテーマを決めていたが、もう少しみんなが答えやすいテーマを加えるほうが良い。

# 平成 30 年度第 5 回余暇支援事業 報告書

2018 年 8 月 4 日

記録者：佐賀県西部発達障害者支援センター蒼空～SORA～

## ■概要

【目的】・当事者同士が集まる機会を設け、お互いの情報交換を行う。

・発達障害者への余暇(休日)支援・情報交換の場を提供し、休日の充実を図ることで、間接的な職場定着支援が出来る。

・雑談等を通して、就労後の問題を早いうちに拾い上げ、就労定着支援を担当している関係機関と連絡をとることで、問題を早期解決できる可能性が増える。

【日時】 2018 年 8 月 4 日(土) 10:00～12:00

【場所】 カラオケ ナイスデイ 新中町店

【参加者】 7名(T.Kさん、T.Mさん、O.Rさん、N.Kさん、H.Yさん、Y.Hさん、S.Kさん)

【参加スタッフ】4名

【活動内容】カラオケ

時間	内容
10:00頃	ストレステスト
	部屋割り、部屋移動、カラオケのマナー
	歌う順番を決める
	カラオケ
12:00頃	ストレステスト、次回のお知らせ 解散

## ■経過と今後の課題

・参加予定だった1名が、当日体調不良で欠席になった。

・今回は開始時刻に参加者が全員集合された為、定刻通りでの開始が出来た。部屋割りについては口頭だけではなく、グループ一覧を紙面に書いて伝えた事で、参加者はスムーズに部屋を移動する事が出来た。

前回テーブルゲームの際に参加者同士でトラブルになりそうな事もあった為、警戒していた部分もあったが、今回はスムーズに余暇支援を行なう事が出来た。グルーピングはとても良かったと感じている。

# 平成 30 年度第 6 回余暇支援事業 報告書

2018 年 9 月 8 日

記録者: 佐賀県西部発達障害者支援センター 蒼空～SORA～

## ■概要

【目的】・当事者同士が集まる機会を設け、お互いの情報交換を行う。

・発達障害者への余暇(休日)支援・情報交換の場を提供し、休日の充実を図ることで、間接的な職場定着支援が出来る。

・雑談等を通して、就労後の問題を早いうちに拾い上げ、就労定着支援を担当している関係機関と連絡をとることで、問題を早期解決できる可能性が増える。

【日時】 2018 年 9 月 8 日(土) 10:00～12:00

【場所】 オフィスそれいゆ

【参加者】 7名(T.Mさん、S.Kさん、Y.Kさん、Y.Hさん、F.Yさん、O.Rさん、I.Yさん)

【参加スタッフ】4名

【活動内容】 テーブルゲーム

時間	内容
10:00 頃	ストレステスト
	フリートーク・自己紹介・質問タイム・ティーパーティーのマナー
	ゲームの説明・ゲームのマナー・景品順位決め
	テーブルゲーム
	結果発表
	景品渡し・会食・雑談・次回お知らせ
12:00 頃	ストレステスト 解散

## ■経過と今後の課題

・フリートークのテーマを予め決めていた為、フリートークが苦手な参加者にとっては話しやすかったようだった。フリートークが好きな参加者もある為、テーマで話すか、フリートークを時間内話すかを選ぶようにした方がいいかもしれない。

・トーク時間が短かった為、ゲーム時間が十分に確保出来た事は良かった。トークのタイムキーパーの設定もあっていいかもしれない。

・テーブルゲームの種類によっては、なかなか終われないゲームがあったりするものもあったため、スタッフがゲームに参加するメンバーによって、「最初にクリアした参加者が出た時点で終了」「何周したら終わる」等のルールを決めた方がいいかもしれない。



# 平成 30 年度第 7 回余暇支援事業 報告書

2018 年 10 月 13 日

記録者：佐賀県西部発達障害者支援センター蒼空～SORA～

## ■概要

【目的】・当事者同士が集まる機会を設け、お互いの情報交換を行う。

・発達障害者への余暇(休日)支援・情報交換の場を提供し、休日の充実を図ることで、間接的な職場定着支援が出来る。

・雑談等を通して、就労後の問題を早いうちに拾い上げ、就労定着支援を担当している関係機関と連絡をとることで、問題を早期解決できる可能性が増える。

【日時】 2018 年 10 月 13 日(土) 10:00～12:00

【場所】 オフィスそれいゆ

【参加者】 6 名(T.M さん、T.K さん、F.Y さん、Y.K さん、Y.H さん、S.K さん)

【参加スタッフ】4 名

【活動内容】調理

時間	内容
10:00 頃	ストレステスト
	フリートーク・自己紹介・質問タイム・ティーパーティーのマナー
	調理の説明、グループ発表
	調理(ホットク)
	会食・雑談・片付け・次回お知らせ
12:00 頃	ストレステスト 解散

## ■経過と今後の課題

・6 名の参加者を 3 グループに分け、2 名に対してスタッフが 1 名つくようにしていた。今回の調理は、一つの道具をそれぞれグループで役割分担して使うようにしていた為、2 人でよかった。3 人になると難しかったかもしれない。調理内容で、それぞれ一人ひとり道具を準備して作る(ホットケーキやホットサンド等)であれば 3 人でもいいかもしれない。

・1 名(Y.H さん)がモデル提示だけでは難しくプロンプトが必要になってしまう為、今後 Y.H さんが参加されるのであれば、フリースタッフが Y さんにつくか、1対1対応をした方がいいかもしれない。

・Y さんが以前就労のスタッフに執着していたこともあり、今回そのスタッフがいた為、今後はそのスタッフとはグループを別にするなどの配慮が必要。

# 平成 30 年度第 8 回余暇支援事業 報告書

2018 年 11 月 10 日

記録者：佐賀県西部発達障害者支援センター 蒼空～SORA～

## ■概要

【目的】・当事者同士が集まる機会を設け、お互いの情報交換を行う。

・発達障害者への余暇(休日)支援・情報交換の場を提供し、休日の充実を図ることで、間接的な職場定着支援が出来る。

・雑談等を通して、就労後の問題を早いうちに拾い上げ、就労定着支援を担当している関係機関と連絡をとることで、問題を早期解決できる可能性が増える。

【日時】 2018 年 11 月 10 日(土) 10:00～12:00

【場所】 カラオケ ナイスデイ 新中町店

【参加者】 6 名(N.K さん、S.K さん、O.R さん、T.M さん、S.K さん、Y.H さん)

【参加スタッフ】4 名

【活動内容】カラオケ

時間	内容
10:00 頃	ストレステスト
	部屋割り、部屋移動、カラオケのマナー
	歌う順番を決める
	カラオケ
12:00 頃	ストレステスト、次回のお知らせ 解散

## ■経過と今後の課題

・今回は遅れる参加者もおらずスムーズに進行できた。

・一名からカラオケの機種希望が出ていたが、他参加者との都合で今回は希望を受ける事が出来なかったが、今回実施をしている中で、希望されていた機種でも他参加者は問題がないようだった為、次回は機種を変えて対応を試みる予定。

・一名会場に来る前にイライラした事があり、本人から「イライラしている」と言われていたが、カラオケで好きな歌を歌っていくうちに落ち着いていたので良かった。

# 平成 30 年度第9回余暇支援事業 報告書

2019 年 1 月 10 日

記録者：佐賀県西部発達障害者支援センター蒼空～SORA～

## ■概要

【目的】・当事者同士が集まる機会を設け、お互いの情報交換を行う。

・発達障害者への余暇(休日)支援・情報交換の場を提供し、休日の充実を図ることで、間接的な職場定着支援が出来る。

・雑談等を通して、就労後の問題を早いうちに拾い上げ、就労定着支援を担当している関係機関と連絡をとることで、問題を早期解決できる可能性が増える。

【日時】 2018 年 12 月 22 日(土) 11:00～13:30

【場所】 Office それいゆ

【参加者】 6 名(O.R さん、Y.H さん、T.K さん、Y.K さん、U.Y さん)

【参加スタッフ】4 名

【活動内容】 クリスマスパティー

時間	内容
11:00 頃	ストレステスト
	マナーの確認、仮装グッズくじ、集合写真
	クリスマス会食(チキン・ケーキ)
	ビンゴ大会、ゲーム(4 種)、雑談 time、テーマトーク
13:30 頃	ストレステスト、次回のお知らせ 解散

## ■経過と今後の課題

・当初 7 名の参加の予定だったが、当日体調不良で 1 名欠席となった。

・当日 1 名遅れてきた事で、最初の集合写真の後、パーティーの最後にもう一度写真を撮った。

・遅れてきたことでイライラしており、パーティーの途中で壁を蹴る等の行為が見られたが、他の参加者に大きな影響はなく、ゲームに誘ったり、食事をしたりする中で少しずつ落ち着いてこられていたので良かった。

・ゲームは 4 種準備をしていたが、予想していたよりも早く終わってしまい、雑談 time が長くなってしまった為、次回はゲームの内容や回数を増やしたり、時間調整の為に他の余暇の際に使用しているテーブルゲームも準備しておくといいかもしれない。

・クリスマス飾りが壁から剥がれ落ちてしまい、パーティー後半には殆どなくなってしまっていた為、今後は飾りも工夫が必要だと思われる。

# 平成 30 年度第 10 回余暇支援事業 報告書

2019 年 1 月 30 日

記録者：佐賀県西部発達障害者支援センター蒼空～SORA～

## ■概要

【目的】・当事者同士が集まる機会を設け、お互いの情報交換を行う。

・発達障害者への余暇(休日)支援・情報交換の場を提供し、休日の充実を図ることで、間接的な職場定着支援が出来る。

・雑談等を通して、就労後の問題を早いうちに拾い上げ、就労定着支援を担当している関係機関と連絡をとることで、問題を早期解決できる可能性が増える。

【日時】 2019 年 1 月 26 日(土) 10:00～12:00

【場所】 カラオケ ナイスデイ 新中町店

【参加者】 6 名(N.K さん、T.M さん、O.R さん、Y.H さん、F.Y さん、S.K さん)

【参加スタッフ】4 名

【活動内容】 カラオケ

時間	内容
10:00 頃	ストレステスト
	部屋割り、部屋移動、カラオケのマナー
	歌う順番を決める
	カラオケ
12:00 頃	ストレステスト、次回のお知らせ 解散

## ■経過と今後の課題

・当初は 7 人の参加申し込みだったが、当日体調不良で 1 名欠席となり 6 名の参加となった。

・今回は今までの違う機種での実施だったが、参加者は楽しめていた。

・参加者の歌う曲の好みや相性等の関係でグルーピングが毎回同じになる為、参加者の中には「他の参加者の歌も聴いてみたい」という意見も出ていた。参加されるメンバーの状況によっては検討出来るかもしれない。

・時間配分についても、参加しているメンバーの中で調整したりされていたので、とても良かったと思う。

# 平成 30 年度第 11 回余暇支援事業 報告書

2019年2月18日

記録者: NPO 法人それいゆ

## ■概要

【目的】当事者同士が集まる機会を設け、お互いの情報交換を行う。

・発達障害者への余暇(休日)支援・情報交換の場を提供し、休日の充実を図ることで、間接的な職場定着支援が出来る。

・雑談等を通して、就労後の問題を早いうちに拾い上げ、就労定着支援を担当している関係機関と連絡をとることで、問題を早期解決できる可能性が増える。

【日 時】 2019年2月16日(土) 10:00~12:00

【場 所】 オフィスそれいゆ

【参加者】 6名(O.Rさん、Y.Hさん、S.Kさん、S.Kさん、T.Mさん、Y.Kさん)

【参加スタッフ】 4名

【活動内容】 テーブルゲーム

時間	内容
10:00 頃	ストレステスト
	フリートーク・質問タイム
	ゲームの説明・マナー説明
	テーブルゲーム
	結果発表・景品渡し(バレンタインチョコ), 次回のお知らせ
12:00 頃	ストレステスト 解散

## ■経過と今後の課題

・当初は 8 名の予定であったが、仕事の都合や体調不良等で 2 名の欠席となり、最終的な参加者は 6 名となった。

・Y.K さんに関して、移行支援事業所をやめて医療機関を受診するとの報告があり、今後について留意する必要がある。

・毎回のことではあるが、参加人数が少なく、当事者間の交流が難しいこともあり、スタッフも積極的に参加しなければ場が成り立たないなどの課題がある。

・今回のように会食ではなく、持ち帰りの景品の際には、ゲームの時間を少し伸ばすなど調整するとよりよいと考えられる。

# 平成 30 年度第 12 回余暇支援事業 報告書

2019 年 3 月 23 日

記録者:NPO 法人 それいゆ

## ■概要

【目的】・当事者同士が集まる機会を設け、お互いの情報交換を行う。

・発達障害者への余暇(休日)支援・情報交換の場を提供し、休日の充実を図ることで、間接的な職場定着支援が出来る。

・雑談等を通して、就労後の問題を早いうちに拾い上げ、就労定着支援を担当している関係機関と連絡をとることで、問題を早期解決できる可能性が増える。

【日時】 2019 年 3 月 23 日(土) 10:00~12:00

【場所】 カラオケ ナイスデイ 新中町店

【参加者】 5 名

【参加スタッフ】3名

【活動内容】 カラオケ

時間	内容
10:00 頃	ストレステスト
	部屋割り、部屋移動、カラオケのマナー
	歌う順番を決める
	カラオケ
12:00 頃	ストレステスト、次回のお知らせ 解散

## ■経過と今後の課題

・当初は6人の参加申し込みだったが、前日に1名欠席となり5名の参加となった。

・参加メンバー全員が集合時間を守り、解散もスムーズであった。

・今回は、普段と違うメンバーでのグループ分けをしたが、特に不満なくスムーズに進めることができていた。

・時間配分についても、参加者自身が時計やスタッフなどの様子を見て、自発的に切り上げることができていた。

・あまった菓子などを持ち帰りたい希望があったが、スタッフ間で対応を統一しやすいよう、対応についてのルール設定をして次年度に臨むと円滑であると考えられる。